

『中途退学、不登校に対するN学の取り組み』

日本放送協会学園高等学校
校長 賀澤 恵二

1 「日本放送協会学園(NHK学園)高等学校」とは **資料1**

～「いつでも、どこでも、誰でも」、そして「世界中どこにいても」

- ①世界最初の「放送」を利用した、日本最初の「広域通信制高校」。来年度50周年。
- ②15歳から85歳までの多様な生徒たち
- ③不登校の生徒に向けた先進の教育－「Do it コース」等
- ④「放送」と「通信」の融合－「ネット学習」の確立、「海外 e コース」の展開

2 「学びを継続させる」ことの重要性

～多様な条件・環境にあっても学ぶことができる教育方針を

- ①中途退学者を作る「安易な特別指導」
- ②学習継続の視点で生徒にかかわり続ける指導
- ③生徒ができることから始める不登校対策
- ④個別に生徒をサポートする視点

3 思い切った施策展開の必要性

～中途退学者を作らず、不登校生徒に寄り添う指導を

- ①「Do it コース」 **資料2** **資料3**
－不登校生徒等を対象としたシステム(現在、東京と大阪で展開)
- ②「併修校システム」 **資料4**
－全日制、定時制の生徒が在籍のまま、通信制を活用して単位を取得できる制度
- ③「e コース」 **資料5**
－放送視聴とインターネットを併用した学習でスクーリング減免を適用
- ④「海外 e コース」 **資料6** **資料7**
－海外在住の生徒が、放送、ネットを活用し、スクーリングを国内で実施
- ⑤「中学生推薦入学制度」 **資料8**
－中学新卒の生徒が、全日制希望の生徒と同時期に、進路を確定できる制度。
- ⑥「東日本大震災被災者特待生制度」 **資料9**
－被災生徒を授業料等無償で受け入れる。現在40名。

4 通信制「教育」の可能性 **資料10** **資料11** **資料12**

～「興味・関心の実現と高校生活」「人生の忘れ物」「被災地対策」「リメディア教育」「不登校中学生への通信講座」(社会教育)、「もう一度学ぶ〇〇」(社会教育)

5 最後に

～私立通信制「高校」の光と影

通信制の可能性。 考えること。50年。

通信制高校のパイオニア、**NHK学園高等学校**は、平成24年で創立50周年。送り出した卒業生は実に66000人を超え、さまざまな分野で活躍をしています。確かな歴史と伝統。**NHK学園高等学校**は、次の50年に向けて、通信制高校の可能性を切り拓いていきます。

全国に40校



安心の学費

卒業までの3年間の学費の合計は
262,912円

※平成23年度・就学支援金申請の場合
※補習等、別途追加費用がかかることはありません。

各種奨学金も充実

通信制でも 驚異の 進学実績!

東京大学 岩手大学
早稲田大学 近畿大学
慶應義塾大学 南山大学
立命館大学 同志社大学
熊本大学 他多数!!

※過去3年間の合格先

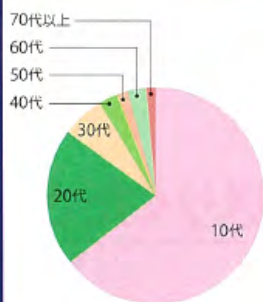
指定校推薦も213校!

※平成23年度の実績



登校は
月に1回~

※スクーリングが年間わずか
4日間のコースもあります。



年齢層の厚さ。

※幅広い年齢層が生み出す交流は、NHK学園ならではの。

3年間で卒業。

高校卒業資格
を得られます。

※転入生・編入生の修得単位を
いかせます。

通信制は難しい?
NHK学園高等学校
なら、そんなことは
ありません!



複数担任が
サポート

何度でも、くりかえし。

NHK
高校講座

※NHK教育テレビとラジオ第2放送の「高校講座」を1日2~3番組視聴します。この放送視聴が授業の役割を果します。インターネットでストリーミング配信されている放送は、いつでも視聴が可能。何度でも学習できる放送視聴は、自宅での学習の支えとなります。

Do it コースは、**NHK学園高等学校**だけの画期的なコースです!!

要望があれば
自宅へも
訪問指導

ユニークで豊富な
カリキュラム

はじめよう、**自宅**から。

科目の
スクーリングは
年間最低1回

インターネットで
いつでも学習

『学習したい気持ちはあるのに、大勢の人がいる教室で授業を受けるのが苦手』

Do itコースは、そんなあなたを応援します。

放送とインターネットをフル活用することで、スクーリングは少なめに。

あなたのペースで自由に学べるユニークなカリキュラムで高校卒業を目指します。

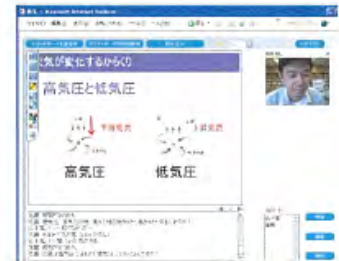
 **NHK学園高等学校**
Do it コース

ユニークで特別なカリキュラムを用意しました

放送とインターネットによる学習指導、年に数回の登校

『教科型科目』

文部科学省が定めた、高等学校卒業に必要な科目が、教科型科目。自宅での放送視聴と、インターネットを通じたレポートのやり取り、さらにネット授業を取り入れることにより、直接対面の面接指導が各科目年間最低1回でクリアできます。登校するのは、9月と1月の試験の直前。自宅での学習が中心ですが、充実した教材で、確かな学力が身につきます。苦手意識を持つ生徒が多い体育は、学習リズムをつかんだ2年目からの学習となります。



ネットでも授業を行います

活動の意欲を高める

『生活実習』

もの造りを基本として、自分の興味や関心に応じた活動に取り組みます。『計画→実行→報告』という流れにそって計画性を持って取り組むことにより、料理や庭の手入れ、日曜大工といった日常の体験が、高等学校卒業の単位として認められます。



庭で育てた梅の実を収穫



生地からパンを作ります



日曜大工で本棚を作りました



障子の張り替えをしました

内容については、まずは身近で取り組みやすいところから、担任の先生や家族と相談して決めていきます。

コミュニケーションスキルやグループワークを学ぶ

『総合セッション』

ストレスとの付き合い方やコミュニケーションスキル、アサーション(相手に配慮した主張行動)を学び、グループワークによる問題解決を実践的に学習します。生徒同士の学び合いを大切にします。学校登校型か、ネット授業型の面接指導を選択します。



みんなで作った花壇の手入れ

将来に役立つ技術や、自分の得意分野を探る

『職業技術』

福祉や芸術、商業などの分野の専門的な学習を通して、将来に役立つ技術や、自分の得意分野を探ります。

NHK学園高等学校

通信制課程 普通科

一部科目併修制度のご案内

NHK学園高校通信制課程との教育連携システム
生徒の学習継続を支援する新たな学習指導のつながり
NHK高校講座で学ぶ通信制高校だからこそ安心です

1. 併修制度とは

御校の生徒が、御校に在籍したままで「NHK学園高校普通科通信制課程の一部科目」を履修し、その修得単位を御校の卒業単位の一部として認定する制度です。

生徒の多様化にともない、文部科学省からも履修制度の柔軟化と単位認定の弾力化の指針が示され、近年高等学校間の連携が進められています。

生徒の状況に合わせて、併修制度を柔軟に取り入れることで、中途退学を防ぐなど生徒の学習継続や生徒のニーズに応えることができます。

2. NHK学園高校併修制度の特長

- 「NHK高校講座」の放送に合わせた49年の歴史ある通信教育カリキュラムですから、より学びやすさ、学習の確かさ・安心感があります。
- 放送視聴により、スクーリング（面接指導）出席時数が、一般の通信制高校の標準時数と比較して5分の2で済みます。
- 放送教材がオープンなので、在籍校の先生方も学習指導やサポートが容易です。
- 郵送による添削指導やeラーニングなど通信教育の手段が選択できる他、メディアの活用によりスクーリング（面接指導）のバリエーションも多様。
自校に在籍しながら、無理なく自分にあった学習が可能です。
- 学習上の疑問や分からないところは、個別指導で解決できます

<導入例として>

- 不登校の生徒の指導に、教室授業でなく通信制課程による学習を取り入れて。
- 定時制通信制併修制度による「三修制」～進学・就職のメリットから、定時制課程を3年間で卒業する希望者に。
- コース変更による大学受験等で、教育課程にない教科科目の履修が必要になったときに。
- 一部科目が単位修得できなかった生徒の指導（卒業支援）に。



NHK 高校講座で学び「スクーリングが5分の2」に免除されたNHK学園高校との併修が増えています！

全国40会場 NHKが創った広域通信制の
NHK学園高等学校
東京本校 eコースのご案内

**スクーリングは
年間4日間のみ!!**
あとは、自宅での
インターネットを活用した学習で、
**3年間で高校普通科
卒業の資格が取れます。**



NHK学園

検索

世界中、どこにいても。



海外在住の方のために、**NHK学園高等学校**が、
新しいコースを作りました。

帰国しての登校は、年間わずか**1回(5日間程度)**。
あとは海外の自宅での学習で、**3年間で高校普通科
卒業の資格を取得**できます。

海外在住でも、無理のない学習システム



海外の自宅で

放送視聴

放送視聴が、授業の役割を果します。インターネットで配信されているので、いつでも視聴が可能。何度もくりかえし学習できる放送視聴は、学習の支えとなります。

NHK
高校講座

レポート提出

放送とリンクしたオリジナルの教材を用い、インターネットで提出します。

※ インターネット環境に問題がある地域にお住まいの方は、ご相談ください。



一時帰宅して

スクーリングと試験

12月に、東京の**NHK学園高等学校**にて行われるスクーリングに参加。スクーリング直後に、試験を受けます。

※ 北海道・東北・名古屋・大阪・広島・熊本にも、宿泊施設を備えたスクーリング会場がありますが、東京以外の会場は10～11月に5日間程度、1月に2日間程度、合わせて年間2回7日間程度の帰国が必要です。

※ 日本全国のスクーリング会場は40ヶ所。卒業までに帰国しても、心配ありません。

※ 国内に居住される場合、登校回数が変わります。



通信制でも、驚異の進学実績！

※ 過去3年間の合格先

東京大学 岩手大学 早稲田大学 近畿大学 慶應義塾大学 南山大学 立命館大学 同志社大学 熊本大学 他多数！！

指定校推薦も213校！

※ 平成23年度の実績

Wスクールも可能！

日本の文部科学省認可の学校でなければ、NHK学園と同時に学習ができます。現地校やインターナショナルスクールへ通いながら、さまざまな形で、日本の高等学校卒業の資格を目指すことができます。

通信制の可能性。考えること。50年。

通信制高校のパイオニア、**NHK学園高等学校**は、平成24年に創立50周年を迎えます。送り出した卒業生は実に66000人を超え、さまざまな分野で活躍をしています。確かな歴史と伝統があります。**NHK学園高等学校**は、次の50年に向けて、通信制高校の可能性を切り拓いていきます。

平成 23 年度海外 e コース生 11 カ国 15 名

- ・ A くん 中 国 漢方学・針灸学を学びたく、中国・広州へ。
- ・ B さん 中 国 父親の転勤により中国・上海へ一家転住。
- ・ C くん 中 国 囲碁修行をするために単身中国・天津へ。
- ・ D くん イギリス 父親のイギリス転勤のためしばらく帰国できず。
- ・ E さん イギリス バレエダンサーになるため、イギリスのバレエ学校に留学。
- ・ F さん アメリカ 急遽決まった父親の転勤により一家転住。
- ・ G くん アメリカ 父親の海外勤務に伴いアメリカ・ソルトレイクシティへ転住。
- ・ H くん ド イ ツ サッカー留学のために単身でドイツへ。
- ・ I さん ベルギー バレエ留学をするためにベルギーへ。
- ・ J さん メキシコ メキシコの現地校に通っているが、日本の大学に入学したいため本校へ。
- ・ K くん ブラジル サンパウロに在住、インター校の欠員がないため本校へ入学。
- ・ L さん オーストラリア バレエ留学のためにオーストラリアに転住。
- ・ M くん マレーシア 父親の海外転勤により家族全員で転住
- ・ N くん バンコク 中 3 の時に宮崎からバンコクの日本人学校に転校。
- ・ O くん シンガポール 父親の転勤に伴いシンガポールに転住。

推薦入学について

本校は昭和 38 年の開校以来 6 万 6 千人以上の卒業生を送り出してまいりました。

近年においては、様々な事情で毎日学校に通うことは難しいが、高等学校で学びたいという中学校新卒者が多く入学しています。そのような入学者の多くが、全日制とは全く異なる通信制の学習システムで自らの力を開花させ本校を卒業し次のステップに進んでいます。

そこで、平成 24 年度入学生より、推薦入学制度を導入することとしました。全日制よりも通信制の学習システムが適しており、高等学校卒業を目指して意欲を持って学ぶことができると、出身中学校長が推薦する生徒を対象としています。

推薦入学を希望する場合は、出身中学校長からの推薦が必要となります。下記内容をご確認の上、推薦入学を希望される場合は、出身中学校とご相談の上出願をお願いします。

○出願資格および推薦基準

次の全ての項目を満たしている者

- ①平成 24 年 3 月中学校卒業見込みの者
- ②本校を第一志望とし、出身中学校長の推薦がある者
- ③本校の学習システムと教育内容をよく理解していて、入学後意欲を持って学習に取り組める者

○募集人数

ベーシックコース	300 名
e コース	100 名
東京本校 Doit コース	15 名
近畿 Doit コース	15 名

○出願期間

平成 24 年 1 月 18 日から 1 月 24 日までに必着のこと

○選抜方法

書類選考と面接を行います。

面接は平成 24 年 1 月 25 日から 1 月 31 日までに行います。

選考結果の発送は、面接後 5 日以内に行います。

Doit コース（東京本校、近畿）の推薦入学について

推薦入学を希望される場合は、こちらの推薦書と Doit コース用の願書をあわせて出願をお願いします。

出願にあたっては、事前に個別相談会または説明会に参加することが条件となります。

Doit コース用入学願書は、上記相談会、または説明会で配布します。

出願後の面接等につきましては、別途連絡します。（7 ページ参照のこと）